

# 金敷駿房

KANASHIKI SHIMBO 書家

作品目録

伊香保温泉

## 横手館

2025.5.16 FRI. - 6.1 SUN.

## ダイニング 本館1階

- 1 花の嵐 hana-no-arashi (激しい風に舞う花々) 182×303cm パネル
- 2 序盤 jyoban (はじまり) パネル屏風
- 41 如是 nyoze (「このように」の意。釈迦の言葉を信じて従うという意味を含む) 鐵の屏風
- 58 山是山水是水 yamawakoreyama-mizuwakoremizu (調和してバランスをとっている) 函
- 59 無心 mushin (心にわだかまりのないこと。雑念や欲心のないこと、また そのさま) 函

## ロビー 本館1階

- 4 伊香保風吹く日吹かぬ日ありと言へどあが恋のみし時なかりけり  
ikahokazefukuhi-fukanuhiaritoiedo-agakoinomishi-tokinakarikeri  
万葉集 第14巻 3422番歌 作者不詳  
(伊香保の風は吹く日も吹かぬ日もあるというけれど、私の恋心はやむときはない) パネル屏風
- 11 華巖 kegon (多くの修行・功徳を積んで徳果が円満にそなわり仏になること) KATACHI
- 48 華心 kashin (美しき思い出が鮮やかな花のごとく心に響く) 博物館
- 49 道無古今 michini-kokonnashi (様々な道に今も昔もない) 象嵌鉄細工：鉢の中
- 50 一之心 ichino-kokoro (初心忘るべからず) ステンドグラス
- 51 寿宝 jyuhu (溢れるめでたい宝) ステンドグラス

## ラウンジ 本館1階

- 18 年年是好年日は好日 nennenkorekonen-hibikorekojitsu  
(良いことも悪いこともありのままに受け入れ、その時その時を精一杯生きなさい) KATACHI
- 45 無碍 muge (自由であり、何も障害がない様子) 標本箱
- 47 心身一如 shinshin-ichinyo  
(肉体と精神は一つのもの両面であり、分けることはできないということ) 標本箱
- 52 無尽蔵 mujinzo (広くて尽きることのない徳を包含する蔵。すなわち仏教のこと) 黒漆喰額
- 53 無心 mushin (心にわだかまりのないこと。雑念や欲心のないこと、また そのさま) 白塗り額
- 54 蟻 ari カプセル
- 56 楽 raku 函

## 事務所 本館1階フロント右奥(外からも入れます) 土足

- 20 雲片片 kumohenpen (雲がぼっかり浮かんでいるあるがままの光景) パネル
- 36 瀧直下三千丈 taki-chokka-sanzenjyo  
(水は形にとどまらず、時に柔軟に、時に刃の如くなる) 白ダンボール箱

- 3 ひかりの華 hikarino-hana (空にも心にもどこにでも咲く花) パネル屏風
- 15 すずしさの魚と鳥と木の話 阪西敦子の句 KATACHI
- 27 日新 hiarata (日々に新しくなること) KATACHI
- 29 なにもなく三時回りぬ桜貝 阪西敦子の句 KATACHI
- 30 寿松 jusyo (力強く美しく健康的に) KATACHI
- 37 浅水無魚 sensuimugyo (底の浅い人間では導かれることはない) KATACHI
- 43 紅炉上一点雪 korojoyo-ittennoyuki (一瞬で消え去る儂いもの) BOOK
- 57-a 実生 misyo 函
- 57-b 水 mizu 函
- 57-c 響 hibiki 函
- 57-d 之 shi 函
- 57-e 妙 tae 函
- 57-f 星 hoshi 函
- 57-g 一二三 ichi-ni-san 函
- 57-h 非仏 hibutsu 函
- 60 「文字の薬」 mojino-kusuri 薬カプセル+薬瓶
- 61 怒りの翼 ikarino-tsubasa KATACHI
- 65 雲去 unkyo (迷いが無くなって) KATACHI

その他 本館/別館

- 21 花舞 hanamai (美しき舞姿は邪を祓う) 別館1階ロビー/卓球台のある空間 パネル
- 38 鳥 tori (しあわせを運ぶ龍の遣い) 本館と別館の間の階段外の錆びた機械の上 石
- 39 三窟 sankutsu (困難や災難を逃れるのが巧み) 本館:1階ラウンジ向かいの水場 石
- 42 颯 tsumujikaze (突然の渦巻く風) 本館1階:正面階段途中の外の池 鐵の屏風
- 44-a 生まれたての線 umaretateno-sen 本館2階「月光の湯」風呂の中庭 木片多数
- 44-b 生まれたての線 umaretateno-sen 本館2階廊下/えびす置物 木片8つ
- 55 一触 issshoku (触れる) 本館1階:正面階段の壁 白い額縁
- 62 臥雲 gaun (隠居すること) 本館階段途中の鏡横の柱 KATACHI 漆板